

島田マチナガ暮ら





## Message

マチは、建物を作れば自然にできるものではありません。  
人がつくろうと思い行動しない限り生まれないです。  
島田のマチには素晴らしい物や人で溢れています。私たちはそれを見えるようにすること。  
そんな気持ちでこの雑誌「しまだマチナカ暮らし」を作りました。  
そして考えました。「買い物」って何だろう?  
皆が買った商品やサービスは、未来のマチを変えることができる  
少しずつ気づき始めたのではないでしょか。  
この雑誌を目にして心惹かれる所があったら、是非お店に足を運んでみてください。  
そしてそこにいる人に会ってください。私たちが自指するのは経済のV字回復ではなく、  
全く新しい時代に入った価値観、幸せ、心地良さなのです。  
これからマチに求められることは、心温まる高揚感を創造していくことだと感じています。



## 島田駅前 サンカク公園

誰にも使われていない駅前の小さな緑地をサンカク公園と名付け、  
2016年から始まったサンカク公園プロジェクト。  
スタートは決して簡単なものではなかった。ただ共通しているみんなの想いは  
「島田をもっと輝かせたい」ということ。  
だから「それさえあれば大丈夫」と感じ活動を続けた。  
そして徐々に応援してくれる人も現れ、今やその輪は想像を遥かに超えて大きくなり  
何かを求めて集まる、そして様々な出来事が始まる場所となった。



# L.cat coffee

コーヒーだけじゃない何かをいつも考えて提供してくれる。  
それは物だけじゃなくて、みんなの居場所だったりもする。  
美味しいコーヒーを探求しながら、みんなの繋がりや出会いを生む。  
そんなコーヒー屋さんがあることを誇りに思う。



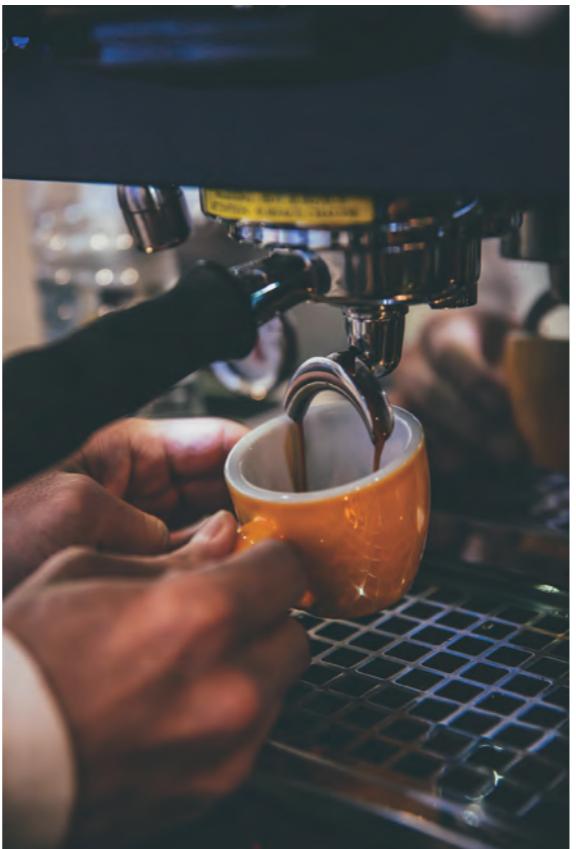


## JUN 喫茶

オーストラリアとニュージーランドで  
珈琲豆の焙煎とバリスタを経験し  
コーヒーそのものの魅力と  
それを囲む人々の豊かな暮らしを創り出すこと  
そんなことを考えて格別の一杯を提供してくれる。

「コーヒーは文化だから」

その言葉どおり  
見据えている世界は広いと感じた。





## b-café

家族経営のお店が好き。  
ちょっとだけ家族の一員になれる気がするから。  
悩みは笑い飛ばし、良いことは一緒に喜んでくれる。

美味しいランチとコーヒー、おやつはその家の日常の味がするし、何より愛を感じる。





## Indihood

やる気とプライドに満ち溢れた料理やドリンク。  
そしてセンス抜群なのに、気負うことなく心地良く居られるインテリア。  
お店に流れる音楽のセレクトも上品で  
けんちゃんの笑顔も最高。

そして極めつけは、どんな話題にも笑顔でちゃんと答えてくれる  
オーナー翔太くんの真っ直ぐな眼差し。  
書いていてもう既に行きたくなった。



## きんつばの小倉屋

昔ながらの甘味屋さんは私たちがホッとする場所としてなくてはならない存在だ。  
店の奥にある工房で作られる小豆餡は銅鍋でじっくり炊かれ  
そして美味しいきんつばやあんみつになる。

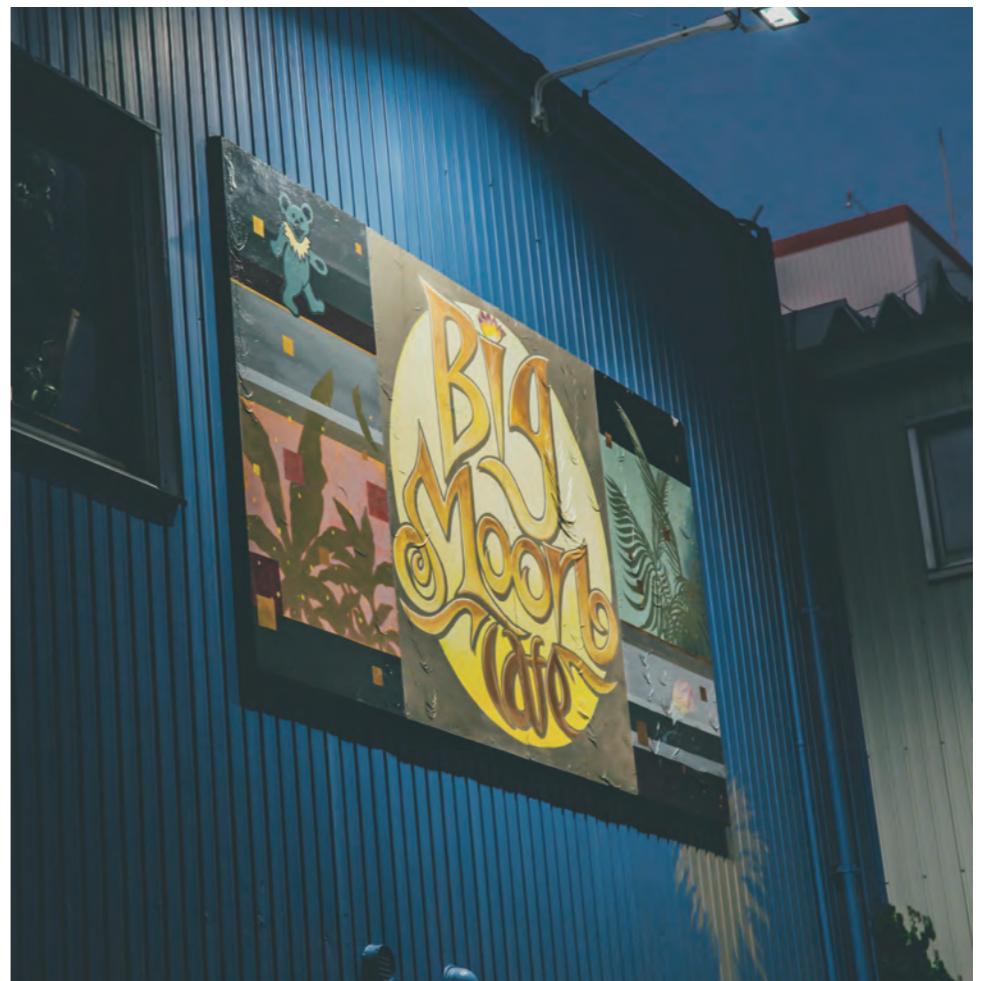
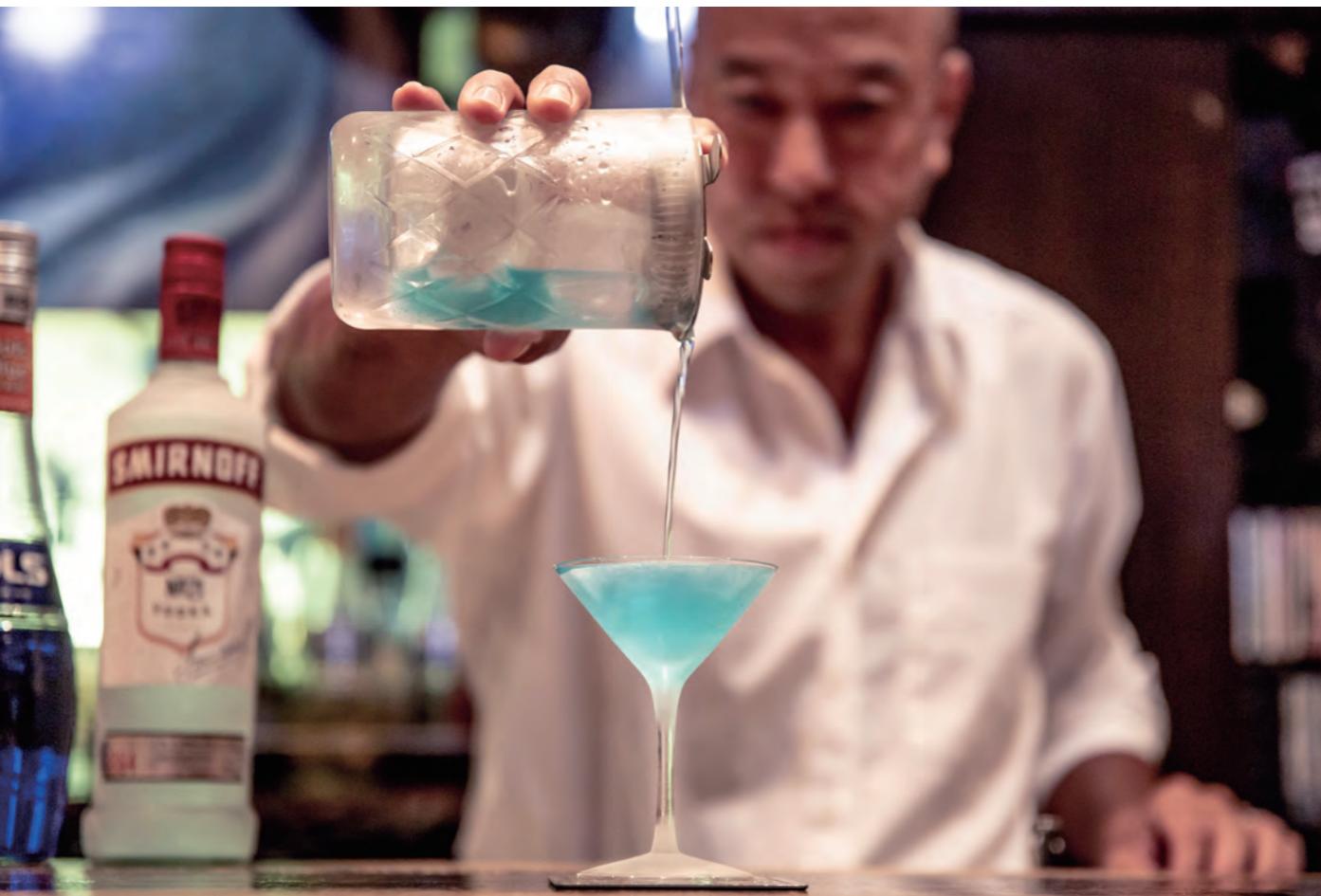
おじさんが一つ一つ包んで焼き上げるきんつばは懐かしい味がして、  
素朴なお店で甘味を食べながら心が落ち着くことに幸せを感じる。



## 通りやんせ

カウンター越しにカンカンッという中華鍋を振るう音を聞きながら出来上がるのを待つのは昭和中華の楽しみの一つ。そして予想通りの美味しい炒飯やラーメンが出来上がり、頬張る。最後に「ありがとね」という笑顔に見送られて今日もお腹と心を満たされてお店を出る。



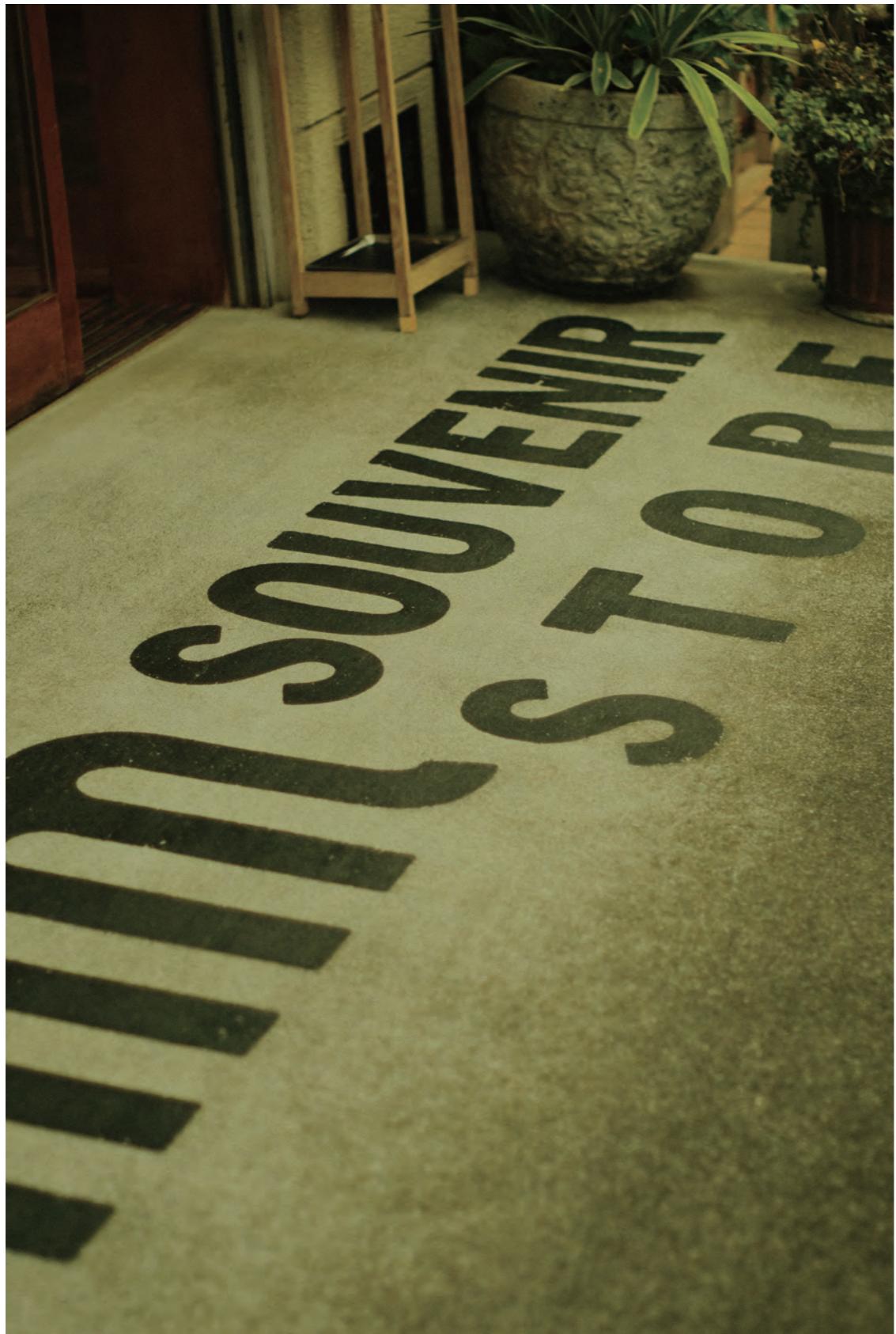


## Blue's Bar Shine と Big Moon cafe

ブルースバーではめちゃくちゃ美味しいジンが飲めるということで  
よし、体験だとトライ。  
なるほど、こういうことなのね！を実感した。  
時々開催されるライブも店主自ら参加したりと、お店と人とが一体化した感覚を味わえる。

2階のビッグムーンカフェでは仕事帰りに夕食&一杯という人の姿が多く見られ  
自宅というプライベート空間に入る前に、こういう場所にちょっと寄り道っていうのが  
スタンダードになりそうなくらい居心地が良い場所だ。







## 美容室 RE.BORN

まるで先生みたいに優しく、そしてちょっとだけ厳しく髪のお手入れの大切さを教えてくれる。  
「頑張れば素敵になれる」って勇気をもらって  
今日も頭皮マッサージに精を出す。

そして行きたくなるポイントがもう一つ。  
リボンさんオリジナルのシュールでポップな洋服や、時々開催されるイベントだ。  
感性を刺激される素敵な仲間が集まって、独自の世界観が広がっている。  
やっぱりここはカルチャー発信の役割もあるのだと感じる。





## 美容室 FAMBILLY

こんなにも髪を大切に扱ってくれて、キレイにしてもらえるのだからそれはもう心も弾むでしょ！  
ここに来るだけで笑顔が増えるし健康になるからいっそのこと保険適用にしてほしい。  
今日もファンビリーさんのおかげでご機嫌な一日だった。

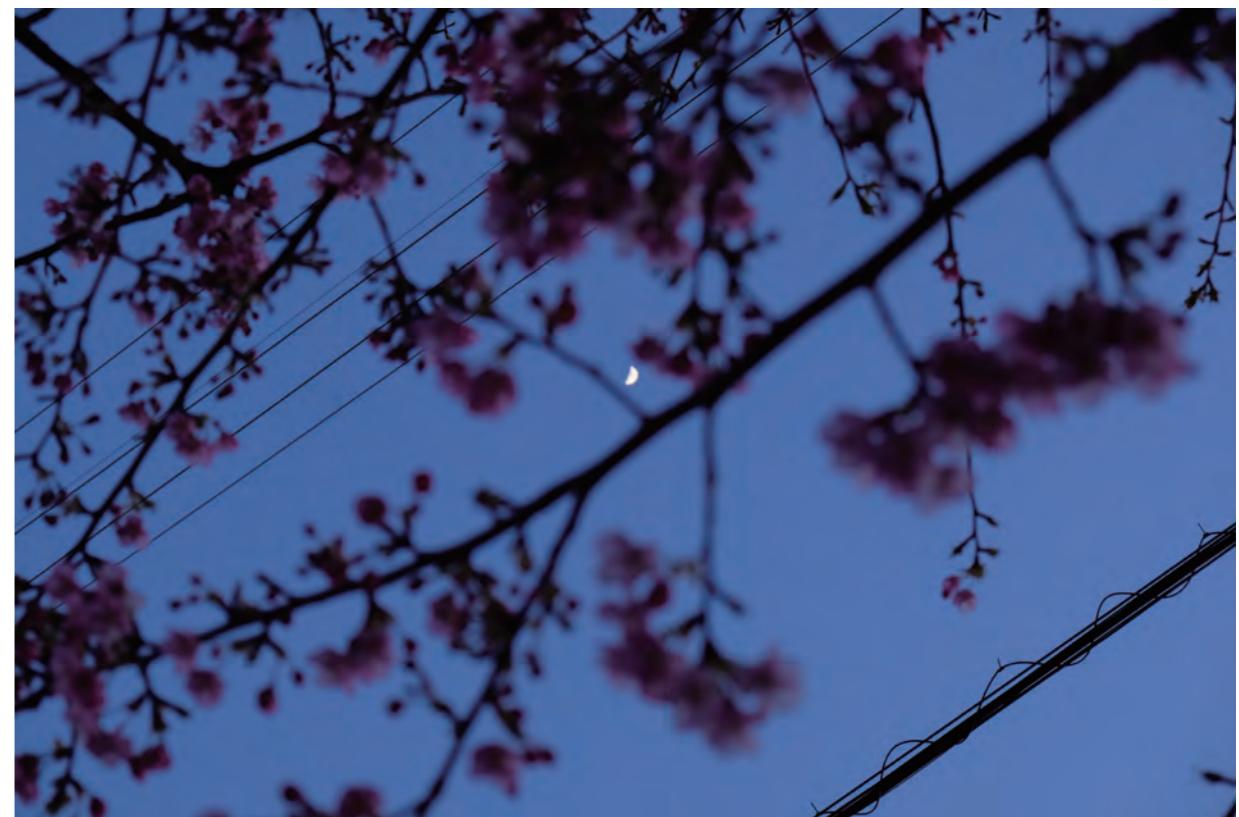




## Ryunic と bakedsweets

学さんのハサミを捌く手が美しくて、チョキチョキという音と共に  
悩みがどんどん遠ざかる感じがする。そして素敵に仕上かった後はシャンと背筋が伸びるから  
身長も少し高くなっていると思う。帰りに併設されているカフェでビスケットとコーヒーを買って  
映画の中の女の子になった気分でウキウキとお店を出る。



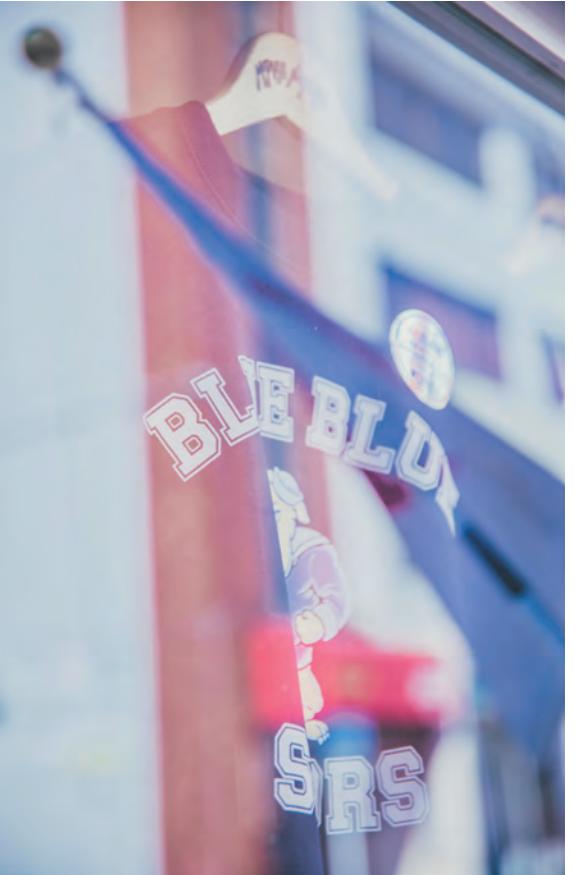


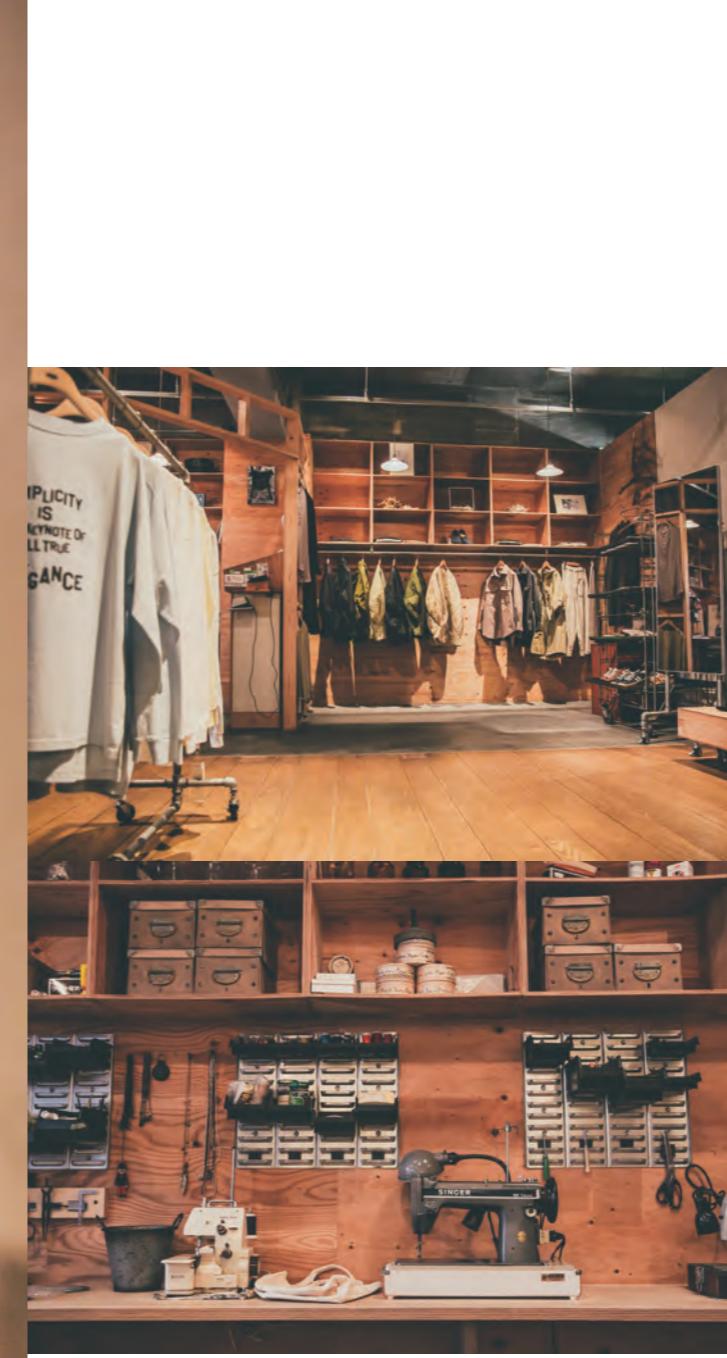


## PALMS CLUB

何を買うか、ではなく誰から買うか、そう感じさせてくれるお店。  
「接客が大好き」という言葉どおり、根強いファンも多く  
長年通ってくれているお客さまの中には親子3代にわたる人もいる。

信頼できるお店で一度は全身コーディネートしてみると良いと思う。  
ただ服を買うのではなく、お店の人との会話を楽しみながら選ぶ喜びを体験してほしい。





## &mm SOUVENIR STORE

創業された先代お父さんの時代はまだ既製品という出来上がった服は販売されておらず、みんなそれぞれ自分のためだけに服を仕立てていたのだと聞くと、本当に豊かなことだと思う。もちろん今はオーダーメイドはしていないのだけど、そんな時代をちょっぴり彷彿させる古いミシンのある工房は魅力的だ。



## Pépiement

駅前に花屋があるとそのマチは豊かになると感じる。  
仕事帰りにサラッと花を買って行く人の姿を見ると  
「誰に贈るのかな？どんな記念日かな？」などとニヤニヤしながら想像してしまう。

さりげなく、センス良く、ナチュラルに  
花や葉っぱが生き生きとした花束になっていくのがとても嬉しい。







## ソライロビル

築40年くらいのこのビルを好みにリノベーションしてみたら  
もう可愛くてたまらなくなつた。  
そしてこここの素敵さを共有できる人と分かち合いたくなつたので  
レンタルスペースとして再スタートした。



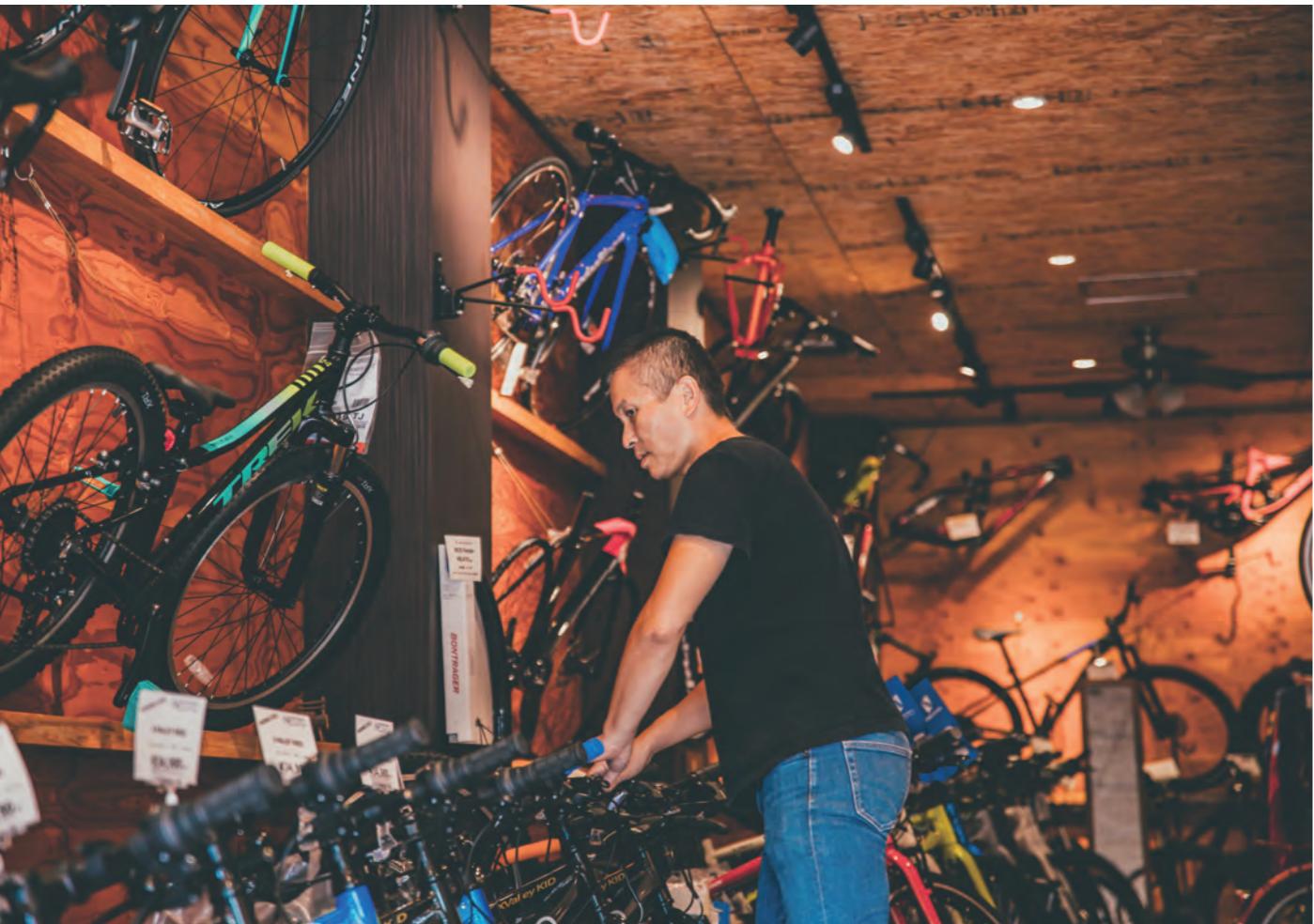


## クロスメディアしまだ コワーキングスペース C-BASE

初めて無人駅の芸術祭を観たとき、ものすごく温かな気持ちになった。  
アートとそれを取り巻く川根の人々と風景があまりにも懐かしい気持ちを呼び起こしたから。  
続いているのではない。ものすごい想いの中で、もう5年も続けているのだ。





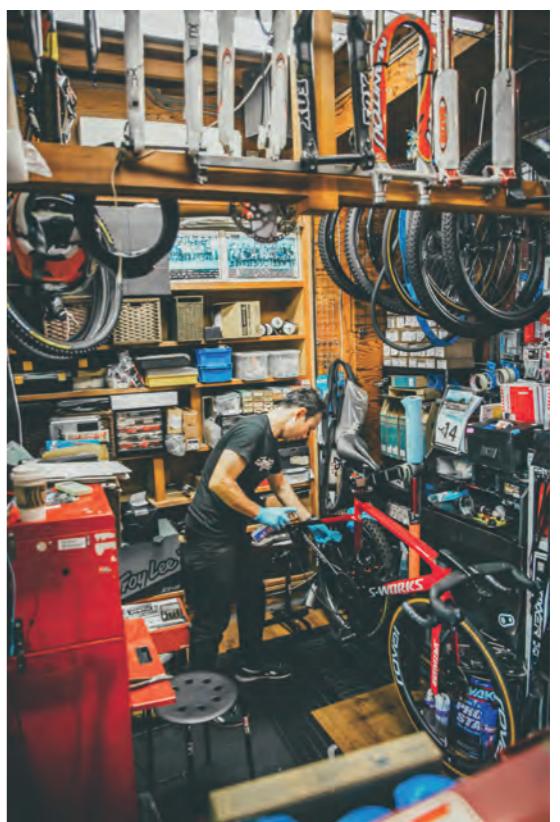


## なるおかサイクル

子どもの頃から自転車屋さんの手早く華麗に修理をする姿が好きでよく覗きに行ったことを覚えている。

高校生の時は空気の少なくなった自転車に乗っていたところ呼び止められてタイヤに空気を入れてもらったこともあった。

最先端のカッコいい自転車がいっぱい並ぶ中やっぱり一番カッコいいのはそれを扱う職人技だと感じてしまう。



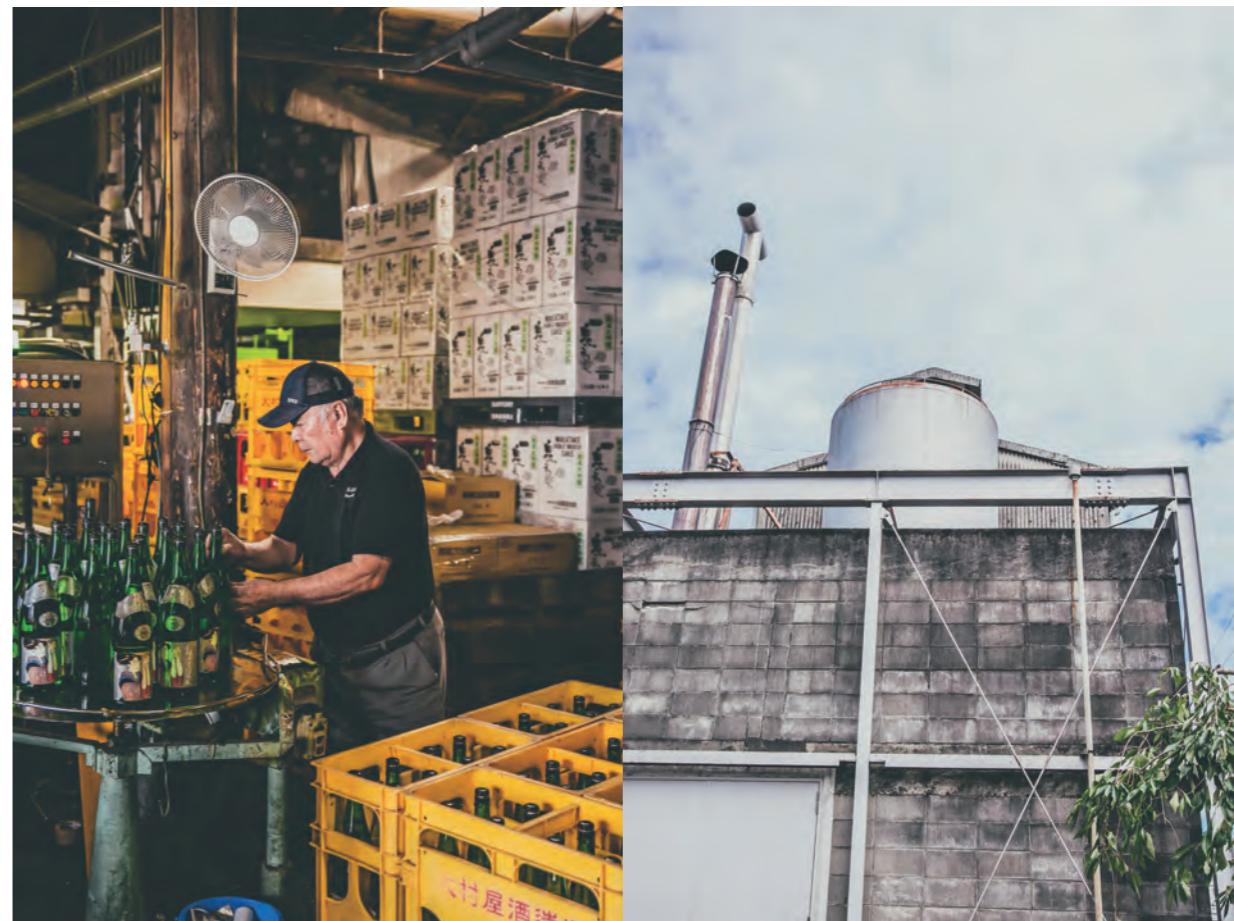


## 大村屋酒造場

南アルプスの伏流水を活かして昔は何軒かあったという造り酒屋。  
今は島田市に唯一残る貴重な存在。歴史は1832年からスタートしたという。

代々受け継がれた技法と共に、先代から始まった海外進出など常に新しい取り組みもされていて  
この新旧のバランスがあるからこそ続いているのだと思う。

そんな歴史の跡を目の当たりにして、ただただ心躍らせててしまった。





## 寿真庵 美肌地蔵

現在サンカク公園のある場所は、元は300年以上の歴史あるお寺の境内だった。

シンボルツリーのクスノキはその歴史の中でみんなに愛されてきた木だ。

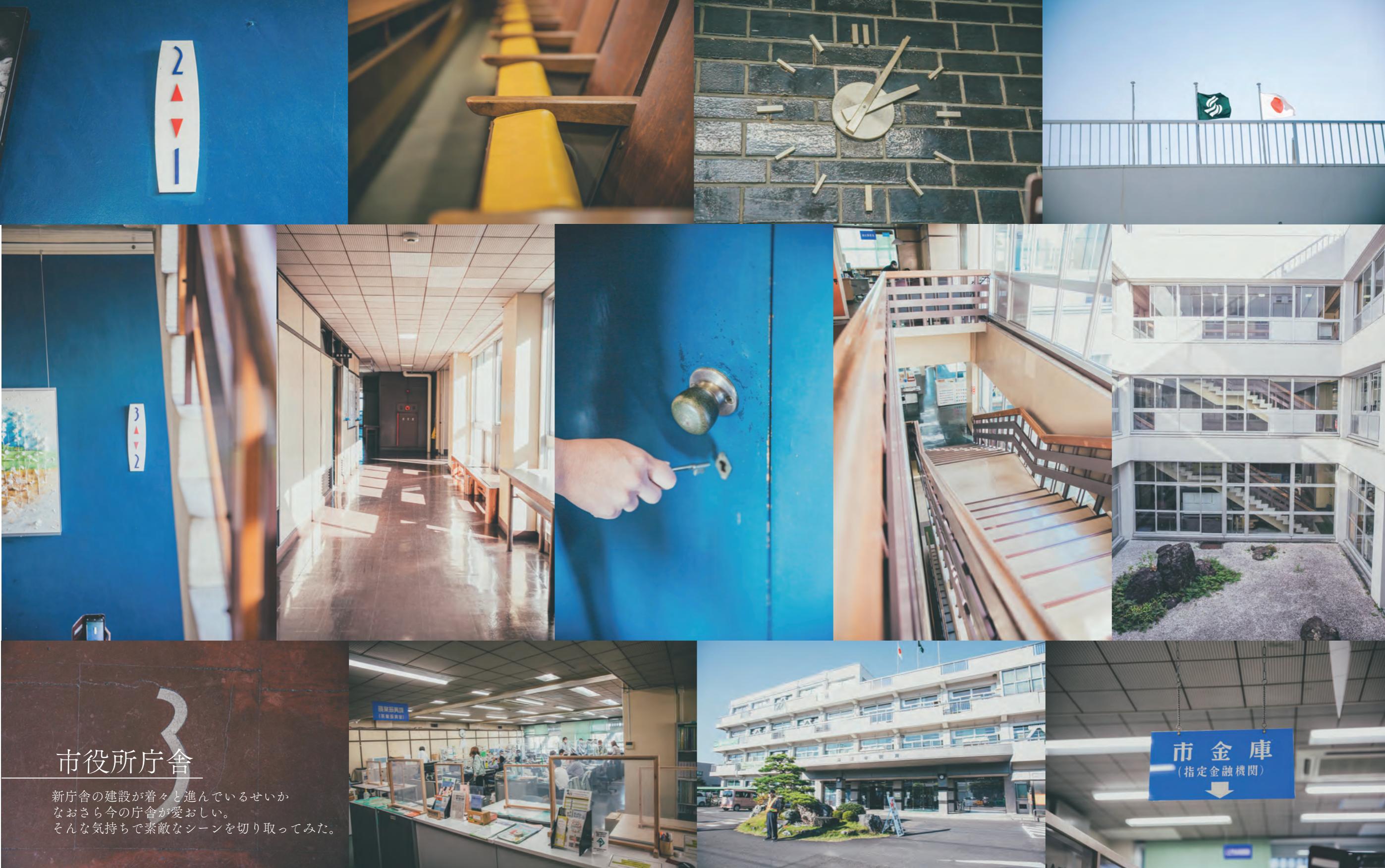
とおりで「氣」が良いわけだ。

そう考えるとまだ歴史は浅いのかもしれないけれど、昭和の初期から伝えられる「お参りすると肌が綺麗になる」というお地蔵さまは実際にご利益もあったというのだからすごい。





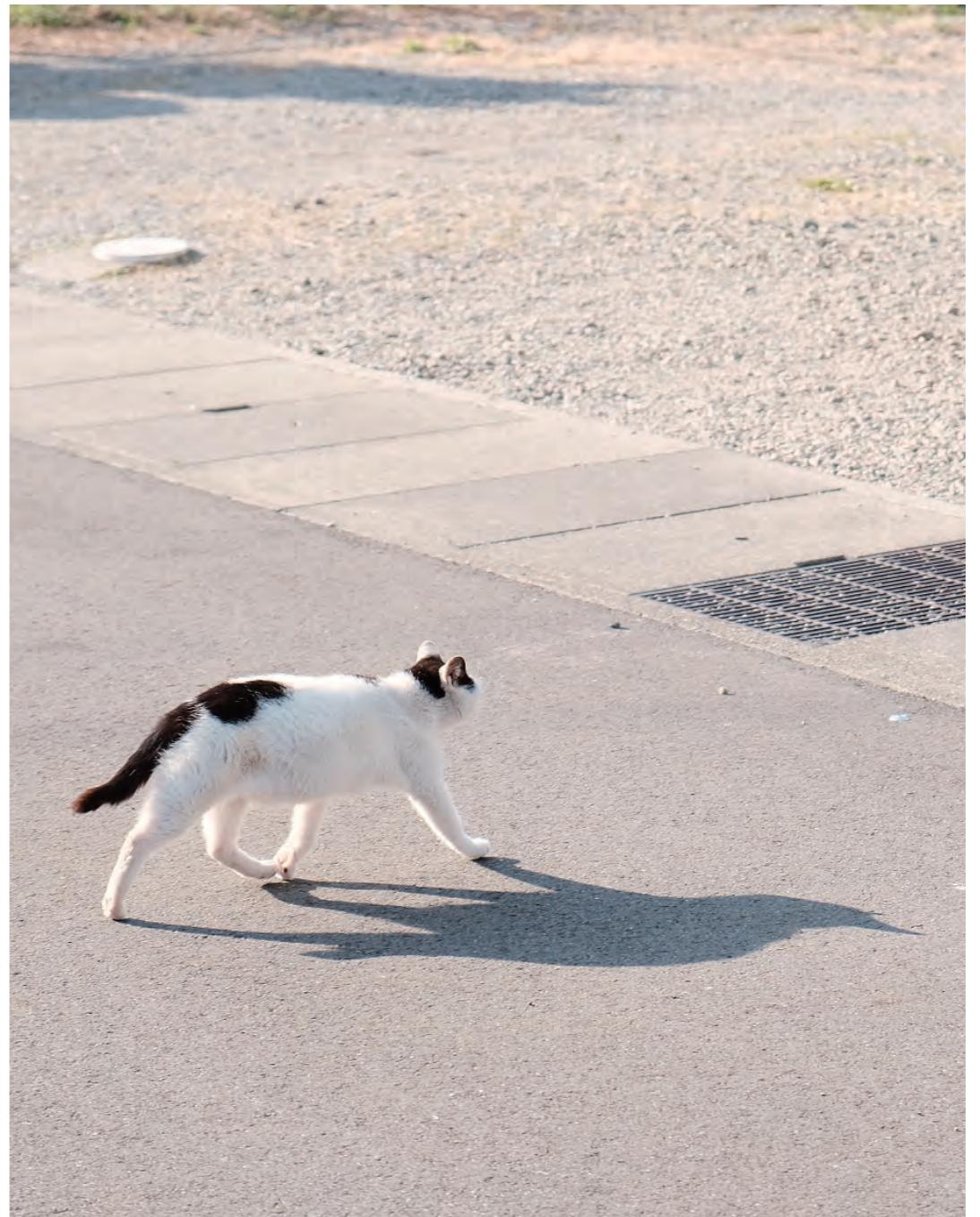
サンカク公園や駅前周辺では数多くのイベントが開催される。  
イベントの運営はリスクや責任が大きく、正直怖いという気持ちもある。  
だったらなぜやるの?  
それはみんなの心の中にマチナカの素敵な思い出を残して欲しいから。  
それに尽きる。



## 市役所庁舎

新庁舎の建設が着々と進んでいるせいか  
なおさら今の庁舎が愛おしい。  
そんな気持ちで素敵なシーンを切り取ってみた。

Fin.



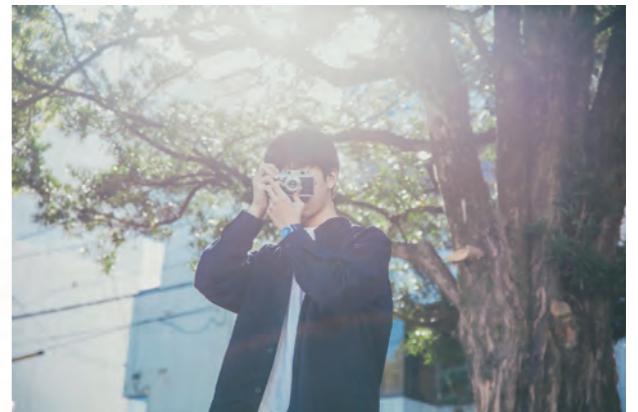


つるつるピカピカのマチには人が引っかからない  
ざらつきやでこぼこがあるからこそ人がとどまるし、居場所ができると感じます。  
この小さな公園から生まれた温かい交流は、  
今やじわりじわりとマチナカに滲み出して楽しみの輪が広がり始めています。



## 雑誌に出てきた場所に行ってみよう

- |                                     |                         |
|-------------------------------------|-------------------------|
| 1. 島田駅前 サンカク公園                      | 11. Ryunic と bakesweets |
| 2. L.cat coffee                     | 12. PALMS CLUB          |
| 3. JUN 喫茶                           | 13. &mm SOUVENIR STORE  |
| 4. b-café                           | 14. Pépiement           |
| 5. Indihood                         | 15. ソライロビル              |
| 6. きんつばの小倉屋                         | 16. クロスマディアしまだ          |
| 7. 通りやんせ                            | コワーキングスペース C-BASE       |
| 8. Blue's Bar Shine と Big Moon cafe | 17. なるおかサイクル            |
| 9. 美容室 RE.BORN                      | 18. 大村屋酒造場              |
| 10. 美容室 FAMBILLY                    | 19. 寿真庵 美肌地蔵            |



しまだマチナカ暮らし  
2022年2月発行

編集：菱谷真美子 サンカク公園プロジェクト  
DESIGN STUDIO SALT

写真撮影：7010 杉浦直人  
えーじ

イラスト：niyol

発行者：島田市産業観光部商工課